

< 巣立ちの練習 >

6月に入り、羽ばたきが盛んになってきた。順調に育っているように見えるが、羽ばたきしていても足が開いたまま腹ばいの状態なので心配になってきた。それでも一生懸命巣立ちの練習をしている姿がなんとも痛々しい。



<こちらクリックで動画が開きます>

<https://drive.google.com/file/d/1gh86rWY1LMe5nycwK2Y7RaYZqQi8Anul/view?usp=sharing>

< 育児放棄 >

そのうち、親がエサを与えなくなった。羽ばたきする小鳩を横目にエサをやらずにそばで2羽がラブラブイチャついている。なんとも非情だ。発育不良なのか、奇形児なのか。親が見放したようだ。まもなく力尽きて、相次いで死んでしまった。かわいそうなことをした。最後のシーンは元気に巣立っていく姿を描いていたが、現実には厳しいものとなった。

エサを与えられずに一生懸命巣立ちの練習をしながら死んでいった小鳩。そばでその死を悲しむこともなく放棄していった親鳩。自然界の厳しさを目の当たりにした。これが現実かと諦め、気持ちを切り替えることにした。

死骸の始末を市役所に問い合わせところ、大変慣れた口調の応答なので、このようなケースは頻繁にあるのかも知れない。箱の上に「ハト」と書いて、燃えるゴミの日収集所の目立つ場所にそっと置いて来た。他のゴミと一緒にして、可哀そうで本当に申し訳なかった。

もう別の鳩が来て産卵場所を物色しているようだ。早速ベランダのまわりに防鳥テグスを張り巡らして鳩除けを施した。ようやく静かなベランダが戻ってきた。

丁度今、人間社会は新型コロナとの闘いの真っ只中。「鳩の産卵」は、その自粛生活にひとときの「癒し」を与えてくれたが、自然界の厳しい現実も教えてくれた。

< 育児放棄は、人間社会にも・・・ >

一方、人間社会の現実も厳しい。新型コロナに加え、政治と金の問題、嘘にまみれた数々の疑惑、政治の私物化……。特に今、絶頂に立った政治家夫婦が、買収容疑で逮捕され、奈落に突き落とされる物語がメディアを賑わせている。ただこの裏には、これまで守られてきた「巨悪」が眠っていることを忘れてはならない。この夫婦は巨悪ではない、せいぜい政権の「トカゲのシッポ」だろう。いままさにこの夫婦は、政権から「育児放棄」されようとしている……。

これまで、森友・加計問題等で何人もの人がシッポを切られ、自殺者まで出ている。権力者に気に入られようと懸命に尽くすものの、その後自分たちの都合が悪くなると切り捨てられる。これでいくつもの疑惑を乗り越えてきた。ただ今回の問題は、シッポ切りで一件落着というわけにはいかないだろう。

コロナの給付金といい、アベノマスクといい、今の政権のやることなすこと全く心がこもっていない。現場を良く知らない、庶民の痛みを知らない、裕福で世襲政治家のカタマリのような人達に、この国のかじ取りを任せていていいのだろうか・・・。

もうこれ以上「育児放棄」は見たくない・・・！

(2020/06/25)